



LJ-I14-02

* 2020年11月改訂(第2版)
2015年5月作成(第1版)(新記載要領に基づく作成)

承認番号: 22700BZX00125000

医療用品 4 整形用品
高度管理医療機器 人工股関節大腿骨コンポーネント (JMDNコード: 35666000)
ミニマ システム

再使用禁止**【警告】**

骨セメント使用時には、併用する骨セメントの使用上の注意の指示に従うこと[骨セメントによる重篤な不具合の危険性がある]。

【禁忌・禁止】

- 適用対象患者
 - 次の患者には使用しないこと。
 - 本品の原材料にアレルギーが確認された患者(アレルギーが疑われる場合は、術前に十分検査を行い、検査で陽性が確認された患者には本品を使用しないこと)
 - 前回の手術、癌や先天性脱臼等により、骨の質・量が極度に不十分な患者、大腿骨の再骨切り手術患者、著しい骨粗鬆症、骨髄炎の患者[インプラントを適切に支持できないか又は適切なサイズのインプラントを使用できない]
 - 感染症の患者[感染巣の転移や敗血症等の併発のおそれがある]
 - 肥満、精神障害、薬物乱用、アルコール中毒等の患者、過度の肉体労働、激しいスポーツを行う患者[患部下肢に過度の負荷がかかり、不具合発現のおそれがある]
 - 神経障害性関節症(シャルコー関節等)、著しい骨粗鬆症、コルチゾン療法患者、免疫抑制療法患者、全身性又は局所性感染の反復履歴患者、支持骨の重症関節障害及び重度の奇形[インプラントの安定的な固定に悪影響が及ぼすおそれがある]
- 併用医療機器
 - 本品は他社製品と併用しないこと。
- 使用方法
 - 本品は、いかなる状況においても再使用しないこと。一旦埋め込み、その後取り外した本品は廃棄すること[使用済みインプラントは小さな欠陥やストレスがあり、インプラントの不具合につながるおそれがある]。
 - 本品を改造して使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

1. 概要

本品は、股関節の機能を代替するために人工股関節置換術もしくは人工骨頭挿入術の際に大腿骨側に埋植するステムである。ステム近部にプラズマスプレーコーティングが施され、ネックの頸体角により以下の種類がある。

- ミニマ S スタンダード ステム (ネック頸体角 134°)
 - ミニマ S ラテラライズド ステム (ネック頸体角 131°)
- 本システムネック部と組み合わせて使用できる既承認品は以下のとおりである。

大腿骨ヘッド:

販売名	承認番号	構成品
Lima セメントレス・フェモラル・システム	21700BZY00383000	CoCr ヘッド
フォルテ セラミックヘッド	22100BZX00201000	フォルテ セラミックヘッド
リマ デルタ セラミックヘッド	22500BZX00311000	リマ デルタ セラミックヘッド

2. 製品名・原材料及び外観

各製品の製品名、製品番号、サイズ等については包装表示ラベル又は本体の記載を確認すること。

製品名〔原材料〕	外 観
1) ミニマ S スタンダード ステム 〔チタン合金、純チタン〕	
2) ミニマ S ラテラライズド ステム 〔チタン合金、純チタン〕	

【使用目的又は効果】

- 使用目的
本品は、人工股関節置換術又は人工骨頭挿入術の際に関節機能を再建するために用いる。
- 適応
 - 変形性股関節症
 - 股関節リウマチ
 - 大腿骨頸部骨折

***【使用方法等】**

- 使用方法(詳細な手術手技については手技書を参照すること)
 - 大腿骨頸部を切除し、小さいサイズのラスプから順に用いて、大腿骨髄腔のブローチングを行う。
 - ブローチの端面が切除面と一致するまで髄腔のブローチングを進める。

手術手技書を必ずご参照ください。

- 3) 適切なサイズのトライアルネックを選択し、トライアルネック挿入後トライアルヘッドを挿入し、仮整復を行う。
 - 4) 仮整復後ブローチ及び全てのトライアルを抜去して、適正なサイズの本品を準備しインパクトを用いて、ステムを大腿骨に挿入する。
 - 5) あらかじめブローチを利用して決定した位置までステムを大腿骨髄腔に挿入し、固定する。
 - 6) ステム固定後、ネック部にヘッドを挿入しインパクトで固定し、最終的な整復を行う。
- *2. 使用方法に関連する使用上の注意**
- 1) 保護用カバーは使用直前まで外さないこと。
 - 2) 各コンポーネントの組み付け、取り扱い、骨への設置は、手術手技書で定められた方法で行うこと。
 - 3) 各コンポーネントを組み付けする際は、組み付け部分の表面が清潔で乾燥した状態で、損傷がなく異物が付着していないことを確認すること。
- *【使用上の注意】**
1. 使用注意（次の患者には慎重に適用すること）
 - 1) 本品の原材料にアレルギーの疑いのある患者（本品の原材料に対する過敏症が疑われるときは、インプラントを選択する前又は手術前に適切な検査を行うこと）
 - 2) 体重過多の患者[人工関節に荷重をかけ、インプラント及び／又は骨セメントの不具合につながるおそれがある]
 - 3) 骨粗鬆症、骨軟化症、骨欠損がある患者[インプラントを安定的に固定できないおそれがある]
 - 4) 患部の奇形、股関節の先天性脱臼を有する患者[関節に過度の負荷がかかり不具合発現のおそれがある]
 - 5) 全身性疾患又は代謝異常疾患[インプラントの安定的な固定に悪影響を及ぼすおそれがある]
 - 6) 食事栄養バランス不良、喫煙、大量飲酒、薬物療法を受けている患者[各々の原因により、インプラントの固定に影響が及ぶおそれがある]
 - 7) 肉体労働、スポーツ等を行う活動性の高い患者[過度の振動の結果、インプラントが動揺あるいは過度の負荷にさらされ、不具合発現のおそれがある]
 - 8) 医師の指示が理解できないか又は指示に従うことができない患者
 2. 重要な基本的注意
 - 1) 適用対象（患者）
 - (1) 手術及び本品のあらゆる面について患者に説明すること。関節再建の限界、その患者に特有の限界、これらの限界から至る結果の可能性および医師による術前の指示に従う必要があることなどを説明すること。
 - (2) 患者に本品を使用して手術を行うことのリスクも説明すること。
 - ① 手術しても全ての患者で良好な結果が得られるわけではなく、また、患者の状態によって効果も異なるなど限界があること。
 - ② 手術が成功しても、インプラントは摩耗や老朽化が避けられないこと。時間の経過とともに緩み場合があり、機能が低下して再手術の必要があり得ること。
 - ③ その他にもインプラントや手術による不具合や有害事象が発現する可能性があること。
 - 2) 併用医療機器
 - (1) 本手術は、本品のためにデザインされた専用の手術用器械を使用して行うこと[不適切な手術用器械を使用することにより、インプラントを適切に設置できず不具合が発現するおそれがある]。
 3. 使用方法
 - (1) 正しいインプラント及びサイズの選択が極めて重要である。適切なサイズ、形状及びデザインのインプラントを選ぶことにより、手術の成功率が向上する。
 - (2) 本品のサイズ、設置及び関節の位置の予測にはX線テンプレートを使用すること。手術時には使用が予定されているものより大きなサイズ、小さなサイズを含む各種インプラントを用意しておく必要がある。
 - (3) 本品のサイズやテーパーサイズを表示ラベルで確認し、組合せて使用するヘッドとの適合性が一致していることを確認すること。
 - (4) 本品のテーパー部や摺動面に損傷、変形があった場合、本品を使用しないこと[結果としてインプラントの不具合の原因となるおそれがある]。
 - (5) 術後は定期的にX線検診を行うこと[インプラントの位置変化や緩み等の不具合を発見することができる]。
 4. MRI 検査に関する安全性評価
 本品については、試験によるMR安全性評価を実施していない。
- *3. 相互作用（他の医薬品・医療機器等との併用に関すること）**
- 1) 併用禁忌（併用しないこと）
- | 医療機器の名称等 | 臨床症状・措置方法 | 機序・危険因子 |
|-----------------------------------|---|---------|
| 【形状・構造及び原理等】及び【使用方法等】に示す当社指定の製品以外 | 不安定性等、本品並びに併用医療機器の効果等の減弱、不具合・有害事象の増強、新たな不具合・有害事象の出現が生じる恐れがある。 | 製品仕様の相違 |
4. 不具合・有害事象
 - 1) 重大な不具合・有害事象
 まれに以下の重大な不具合及び有害事象が発現する可能性がある。
 <重大な不具合>
 - (1) 過度の荷重や不適切な手術等による本品の折損
 <重大な有害事象>
 - (1) 組織反応又はアレルギー（腐食または摩耗生成物）
 - (2) 静脈血栓、肺塞栓及び心筋梗塞を含む心臓血管疾患
 - 2) その他の不具合・有害事象
 以下の不具合及び有害事象が発現する可能性がある。
 <その他の不具合>
 - (1) 本品の緩み、ずれ、摩耗、機能低下（過度の荷重、不適切な手術等による）
 <その他の有害事象>
 - (1) 急性または遅発性の感染症
 - (2) 脱臼、亜脱臼、運動性不全、下肢の短縮又は伸長（インプラントの位置不良による）
 - (3) 骨折（一方への荷重、脆弱な骨質による）
 - (4) 手術随伴血腫及び創傷治癒遅延
 - (5) 可動域の減少
 - (6) 血管障害を含む循環障害
 - (7) 一時的または持続的麻痺
 - (8) 肺梗塞症、肺塞栓症の肺疾患

手術手技書を必ずご参照ください。

- (9) 手術中の外傷、下肢差、筋肉疾患に伴う症状悪化
- (10) 泌尿器合併症、特に尿鬱滞及び感染症
- (11) 異所性骨化
- (12) 疼痛
- (13) 一般の手術、薬剤、補助装具の使用、血液、麻酔等に
随伴するその他の合併症

5. 妊婦、産婦、授乳婦及び小児等への適用

妊婦、産婦、授乳婦及び小児等に対しては、特に、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ使用すること
[妊婦、産婦、授乳婦及び小児等に対する安全性は確立していない]。

***【保管方法及び有効期間等】**

- 1. 保管方法
高温、多湿、直射日光を避け、室温で保管
- 2. 有効期間
包装表示ラベルを参照 [自己認証（自社データ）による]

【主要文献及び文献請求先】

日本リマ株式会社
電話：03-5322-1115（代表）

***【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

- 1. 製造販売業者
名称：日本リマ株式会社
電話：03-5322-1115（代表）
- 2. 製造業者（設計）
名称：リマコーポレート エスビーイー
(Limacorporate S.p.A.)
国名：イタリア共和国